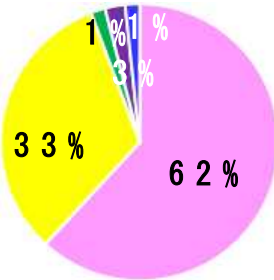
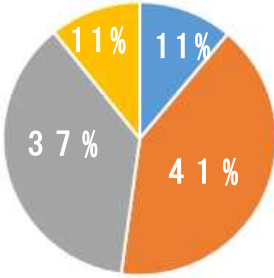
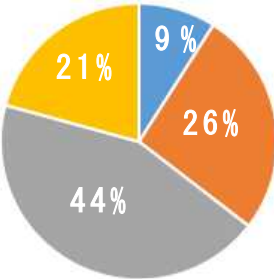
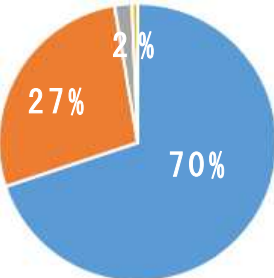


臨時休業期間中の学習と生活アンケート結果（保護者用）

6/1（月）～4（木）連絡メールでアンケート調査実施
 回答率90.3%（299/331世帯）

■ そう思う
 ■ だいたいそう思う（肯定的評価）
 ■ あまりそう思わない
 ■ そう思わない

<p>①</p>	<p>保護者の皆さんが一番心配したことは何でしたか？</p> <p>1, 勉強 2, 生活リズム 3, 友達関係 4, 部活動 5, その他</p>		<p>【実態】</p> <p>◇保護者の子どもに対する『心配事』順位は、1位「勉強」62%、2位「生活リズム」33%、3位「部活動」3%、4位「友達関係」1%、5位「その他」1%でした。「その他」の心配事については、別紙の記述一覧を参照。心配事の中心は「勉強」と「生活リズム」で95%を占めていました。</p>
<p>②</p>	<p>お子様は進んで家庭学習（課題）に取り組むことができましたか？</p>		<p>【実態】</p> <p>◇「進んで家庭学習に取り組むことができていた」と肯定的に子どもたちの家庭学習への姿勢を捉えている保護者は52%でした。一方で、「進んで家庭学習に取り組めなかった」と否定的に捉えている保護者は48%でした。この結果より、生徒たちの家庭学習に対する取り組み姿勢が2極化していることが明らかになりました。</p>
<p>③</p>	<p>お子様はテレビやゲーム、メールやSNS等の利用時間に気をつけて生活することができていましたか？</p>		<p>【実態】</p> <p>◇「利用時間に気をつけて生活できた」と肯定的に捉えた保護者が35%で、「利用時間に気をつけられていない」と否定的に捉えた保護者が65%でした。外出自粛や人に会えない状況になると、アウトメディアへの依存度が高くなる傾向が明らかになりました。また、①の「友達関係」の心配が低いのは、ゲームやSNS等で友達とのつながりが保っていた状況があったからかもしれません。</p>
<p>④</p>	<p>お子様は3密（密閉・密集・密接）を意識した行動（生活）ができていましたか？</p>		<p>【実態】</p> <p>◇「3密を意識した行動ができた」と肯定的に捉えた保護者は97%でした。多くの生徒たちは不要な外出を避け、自宅にこもる生活をすることができていたことが分かりました。家庭内での新型コロナウイルス感染症拡大防止予防に対する「3密」の理解は身に付いているといえる状況でした。</p>